

耐力壁ビス KS4041 取扱説明書

3 倍用

こちらの面は壁倍率 **3 倍用** の説明です。
4.9 倍用については裏面をご覧ください。

4.9 倍用は裏面へ...

※ご使用前に必ずお読みください。

建築基準法施行令第 46 条第 4 項表 1 に掲げる壁もしくは筋かいを併用する場合は、壁倍率 5 を限度としてそれぞれの壁倍率を**加算**することができます。

国土交通省大臣認定番号 FRM-0284

用途

■ 構造用合板と軸組材を緊結するビスです。

仕様一覧

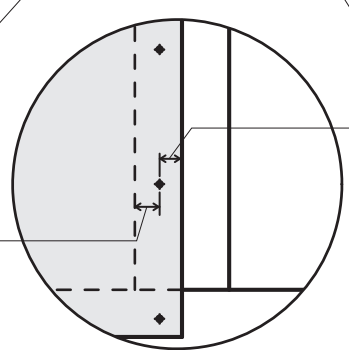
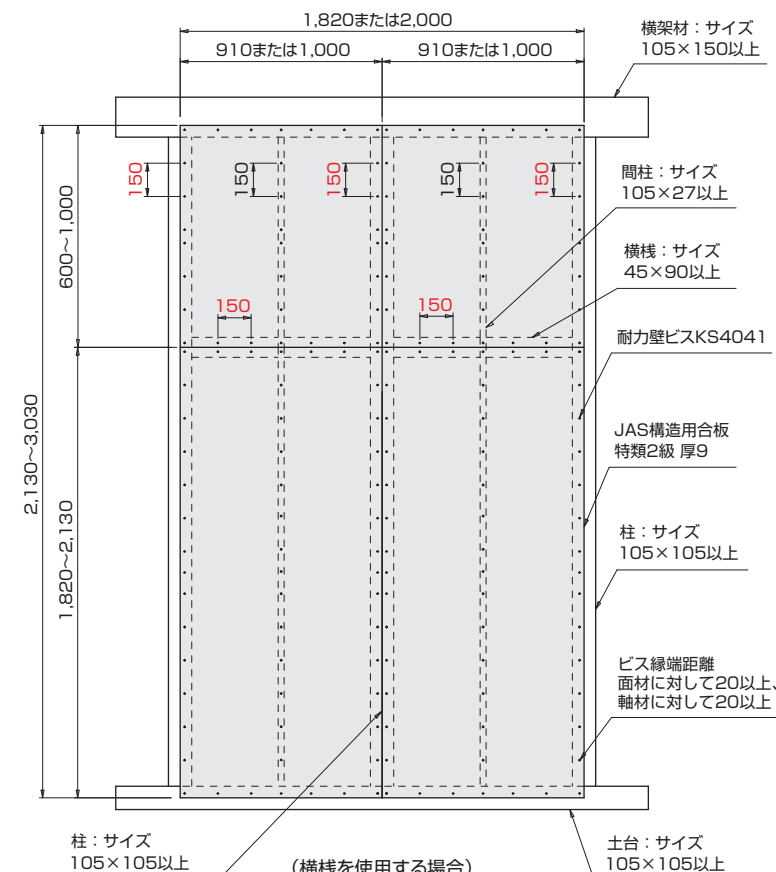
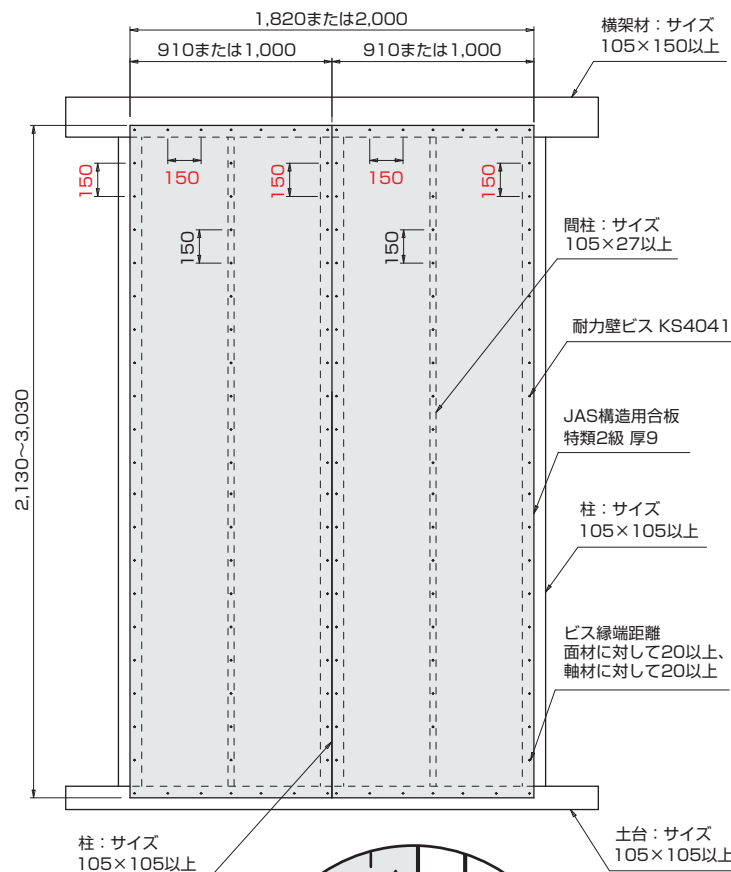
壁倍率 3 倍用		
仕様	大壁仕様 / 木造軸組耐力壁	
面材	JAS 構造用合板 特類 2 級 9mm	
ピッチ	外周	150mm 以下
	中通	150mm 以下
縁端距離	面材に対して	20mm 以上
	軸材に対して	20mm 以上
壁倍率	3.0 倍	

施工手順

- ① 合板縁端部と軸組材の重ねしろは、45mm 程度とする。
- ② 合板は、架構等に直接張る。
- ③ 合板外周部のビス間隔は、**150mm 以下**とする。
- ④ 合板中通りのビス間隔は、150mm 以下とする。
- ⑤ ビスの頭部は、合板表面部より深く打ち込まないように施工を行う。
- ⑥ ビスを打ち損じた場合は、抜き取りビス間隔が広がらないように打つ。
- ⑦ ビスは、機械にて施工する。

施工管理

- ① 使用済み製品梱包箱を建築現場で保管し、指定されたビスで施工されたことを確認する。
- ② 指定されたビスが仕様通りに施工されたことを目視によって確認する。
- ③ 当該耐力壁の壁倍率とビス施工方法が目視で確認できるように当該壁ごとに壁倍率、外周部ビス間隔、中通りビス間隔を明記する。(マジック等で記入、シールを貼りつける、など。)



※横梁を柱、間柱に突きつけとし JIS A 5508 に定める N75 もしくは CN75 を 2 本斜めくぎ打ち、または同等以上の方法とする。

注意事項

- 外周壁の屋外側下地材として使用する場合は、防水紙等の材料で被覆してください。
- ケガに注意!! 手袋を着用するなど金物の切断面に注意して作業をしてください。
- ビスを打ち込む際にも、軍手や手袋などをはめ、さらに保護メガネを装着し、怪我のないようにしてください。
- 耐震リフォームでご使用いただけます。詳しくは BX カネシン CS センター (TEL.03-5671-1077) までお問合せください。
- 工具は適応しない機種もございますのでご注意ください。
- 工具は電動の連結ねじドライバをお勧めします。
- 現場で防腐・防蟻処理他、薬剤を使用する場合は、金物に薬剤が付着しないように注意してください。金物本体や表面処理が著しく劣化する場合があります。
- 放り投げたりハンマーで叩く等、乱暴に取扱うと破損や変形する恐れがあります。
- 目的用途以外には使用しないでください。

単位(mm)

耐力壁ビス KS4041 取扱説明書

4.9倍用

こちらの面は壁倍率 4.9 倍用の説明です。
3 倍用については裏面をご覧ください。

3倍用は裏面へ...

※ご使用前に必ずお読みください。

建築基準法施行令第 46 条第 4 項表 1 に掲げる壁もしくは筋かいを併用する場合は、
壁倍率 5 が限度のためそれぞれの壁倍率を加算することができません。

国土交通省大臣認定番号 FRM-0285

用途

■ 構造用合板と軸組材を緊結するビスです。

仕様一覧

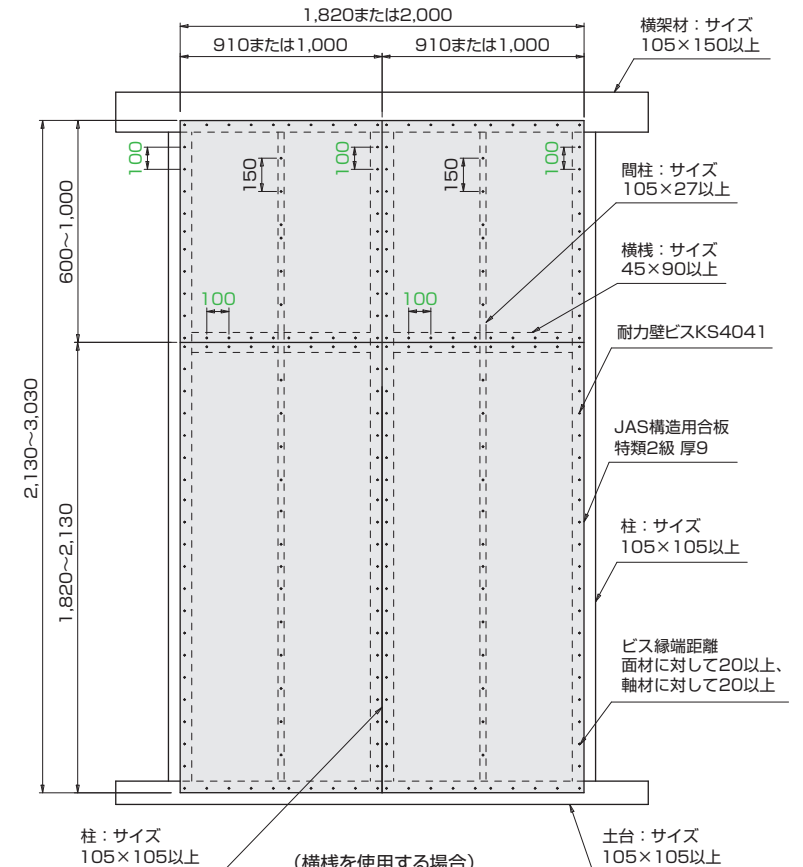
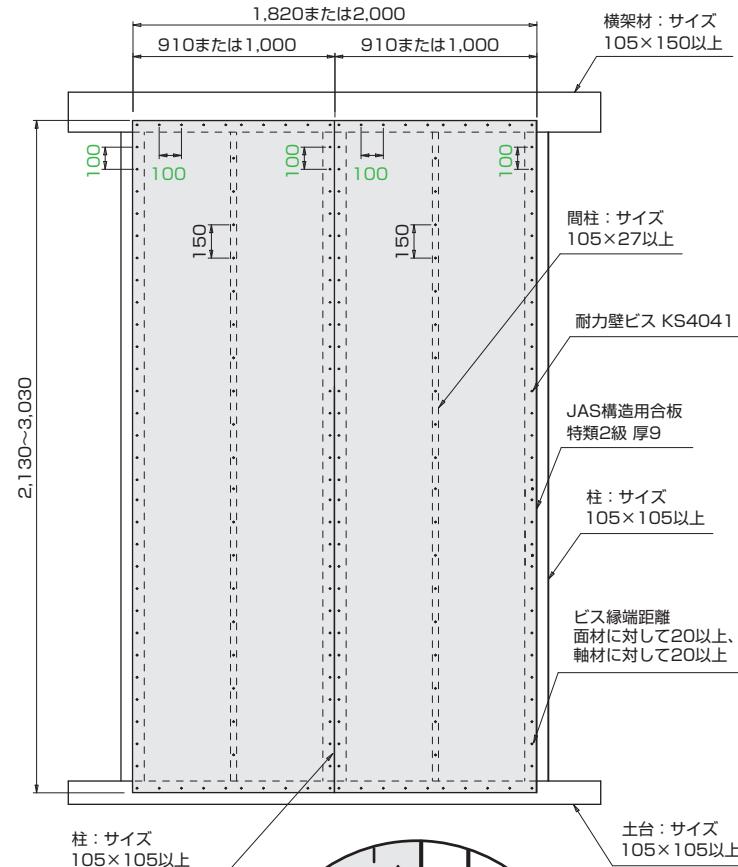
壁倍率 4.9 倍用		
仕様	大壁仕様 / 木造軸組耐力壁	
面材	JAS 構造用合板 特類 2 級 9mm	
ピッチ	外周	100mm以下
	中通	150mm以下
縁端距離	面材に対して	20mm以上
	軸材に対して	20mm以上
壁倍率	4.9 倍	

施工手順

- ① 合板縁端部と軸組材の重ねしろは、45mm 程度とする。
- ② 合板は、架構等に直接張る。
- ③ 合板外周部のビス間隔は、100mm 以下とする。
- ④ 合板中通りのビス間隔は、150mm 以下とする。
- ⑤ ビスの頭部は、合板表面部より深く打ち込まないように施工を行う。
- ⑥ ビスを打ち損じた場合は、抜き取りビス間隔が広がらないように打つ。
- ⑦ ビスは、機械にて施工する。

施工管理

- ① 使用済み製品梱包箱を建築現場で保管し、指定されたビスで施工されたことを確認する。
- ② 指定されたビスが仕様通りに施工されたことを目視によって確認する。
- ③ 当該耐力壁の壁倍率とビス施工方法が目視で確認できるように当該壁ごとに壁倍率、外周部ビス間隔、中通りビス間隔を明記する。(マジック等で記入、シールを貼りつける、など。)



※横架を柱、間柱に突きつけとし JIS A 5508 に定める N75 もしくは CN75 を 2 本斜めくぎ打ち、または同等以上の方法とする。

単位(mm)

注意事項

- 外周壁の屋外側下地材として使用する場合は、防水紙等の材料で被覆してください。
- ケガに注意!! 手袋を着用するなど金物の切断面に注意して作業をしてください。
- ビスを打ち込む際にも、軍手や手袋などをはめ、さらに保護メガネを装着し、怪我のないようにしてください。
- 耐震リフォームでご使用いただけます。詳しくはBXカネシンCSセンター(TEL.03-5671-1077)までお問合せください。
- 工具は適応しない機種もございますのでご注意ください。
- 工具は電動の連結ねじドライバをお勧めします。
- 現場で防腐・防蟻処理他、薬剤を使用する場合は、金物に薬剤が付着しないように注意してください。金物本体や表面処理が著しく劣化する場合があります。
- 放り投げたりハンマーで叩く等、乱暴に取扱うと破損や変形する恐れがあります。
- 目的用途以外には使用しないでください。